



温故知新



1.安全の基本

1-1 安全とは

安全とは前段と後段がある。

《前段》事故や災害の発生を防止する。

《後段》もしも、それが発生しても最小限に済むような対策をすること。

1-2 事故とは、災害とは何だろう

事故とは 物が倒れる、落ちる、破壊する等のことで、それより人の傷害がない事件のこと。

例1. 足場が倒れたが、幸い誰も乗っていない、またその下敷きにもならなかった。

例2. 重機が倒れたが、オペレーターも、そばにいた作業員にも傷害がなかった。 など

災害とは 人（労働者）が業務中、又は業務によりケガ、病気、死亡すること。

例1. 事故や、自分自身又は他社の不注意などにより、ケガなどをする。

例2. 事故などの原因はないが、作業方法、作業姿勢が悪く傷害になる。 など

被災者が労働者の場合⇒労災（労働災害）ということは中小事業主や一人親方が被災しても
労災とはならない⇒単純に災害 ※労働保険が適用になる災害

「安全第一」とは=安全が全てではないが、安全でなければ全てとは言えない。

1-3 墜落災害の防止対策

墜落災害を防止する為には ← 墜落しないようにする

墜落災害防止対策の三段階

1. 落ちない為の 教育をする、 受ける

教育 安全作業手順書 朝礼 危険予知活動

2. 落ちない為の 設備を作る、 使う

作業床 手すり 昇降設備

3. 落ちた時の 保護具を使わせる、 使う

安全帯 親網 安全ネット ヘルメット

前段

後段

《今号の主な内容》

- P①②③ 安全とは
- P④ 安全パトロール
- 旅行会のお知らせ



発行

野田工業株式会社

東京都中央区銀座6-6-19

花菱ビル5F

TEL : 03-3572-1866

FAX : 03-3575-0420

高所の足場、作業床などから墜落した際、ほとんどの場合「なぜ、安全帯を使っていなかった?」「安全帯を使っていれば」との原因及び対策がでるが、その前に、まず、この教育、設備がきちんと出来ていたか、が(前段)であり、それでも落ちるかもしれないので、3.の保護具の話(後段)が出るべきであり、墜落防止対策に「安全帯が第一」ではないのである。

墜落転落する時は=人は 20mからは(めったに)落ちないが、
2mからは(たびたび)落ちる。



1-4 事故・災害はどうして起こるか

(1) 安全管理が完全に実施されない場合

安全管理計画が不十分な場合はもちろん、その計画による実行、点検、改善などが確実に実施されないと、**事故や災害になる恐れ**がある。(管理誤り、手抜き)

(2) 不安全な状態(設備)の場合

次のような欠陥があると、**事故や災害になる恐れ**がある。(一例)

① 物自体の欠陥	足場板が痛んでいる	玉掛けワイヤがキンクしている
② 機械・装置等の欠陥	機械が壊れかかっている	のこ歯が切れなくなっている
③ 作業場所の欠陥	材料が散らかっている	作業床に開口部そのままにしてある
④ 作業環境の欠陥	粉じんが舞っている	照明が暗い
⑤ 防護装置の欠陥	丸のこのカバーを外している	リミットが故障している
⑥ 自然不安全状態	大雨、又は強風の天気	凍結、雷

(3) 不安全な行動をした場合

安全管理が十分行われていて、作業設備が整っていたとしても、作業者個人が油断・不注意・横着、また手抜きや不安全な行為をすると、**事故や災害になる恐れ**がある。(ヒューマンエラー)

労働安全衛生マネジメントシステム《OHSMS》について

厚生労働省は、企業の「安全文化の創造」即ち組織と個人が安全を最優先する企業風土や気質を育て、労働災害の一層の減少を図ることを狙いとして「労働安全衛生マネジメントシステム(以下、OHSMSという)に関する指針」を平成11年4月に出しました。

これは、労働安全衛生管理の仕組みを標準化しようという国際的な動向に沿ったものです。

OHSMSは、事業者が職長・作業員等、労働者の協力のもとに、

「計画(P)・実施(D)・評価(C)・改善(A)」

という一連の過程を定めて、安全衛生活動を継続的、自主的に行うことにより、建設事業場の潜在的危険を低減すると共に、労働者の健康増進及び快適職場の形成を図り、もって事業場における安全衛生水準の向上を図ることを目的としています。



Occupational Health and Safety Managemant System
(労働) (健康) (安全) (管理する仕組)

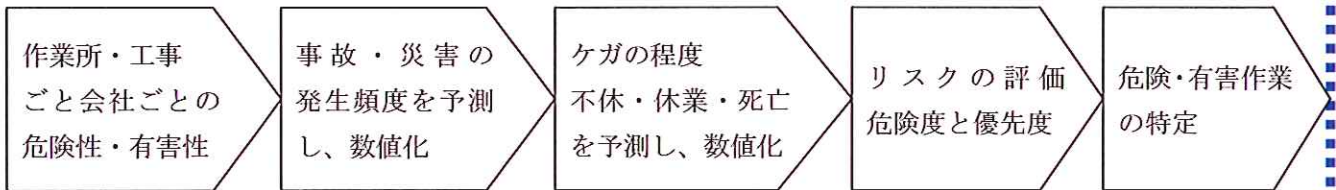


事業主・担当者・職長が実施する部分

会社ごとに、仕事・作業を開始する前までに、まず、リスクが発生する頻度と、もしもその災害が発生した場合のケガなどの程度をそれぞれ予測して数値化する。

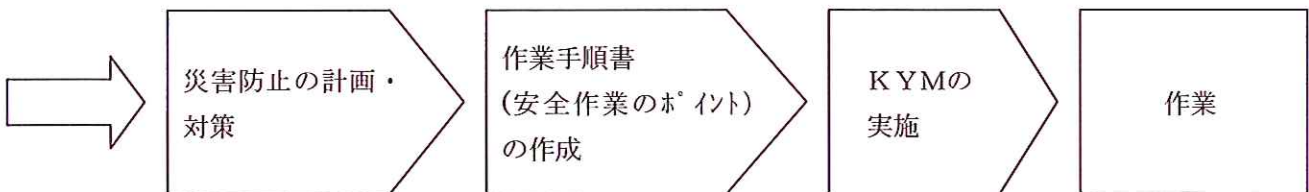
次にその数値をかけ合せ、危険度を出す。

その数値が大きいものから危険作業であるとして特定し、その作業中に災害等が発生しないように計画・対策などを確実に対応していく。



職長・作業者が実施する部分

会社や職長が「リスクアセスメント」を行って作成した、安全作業手順書を使って、職長を中心に“KYM”を実施し、その作業の対象作業者は十分に理解した上で日常の作業にかかる。



従来からある、KY（危険予知）とは違う??

「災害の発生を未然に防止するために、“危険又は有害要因”を見つけて検討し、その対策を立案する”ことは共通である。

相違点	KY(危険予知)	リスクアセスメント(RA)
実施時期	○作業をはじめる寸前 TS-5	○作業計画書・作業手順等を作成する時 ○工事・作業を開始する前までに
実施者	○職長と作業員(個人) 現地で実施	○事業者(工事・安全担当)、 職長(事業者の代行者として)
実施内容	○守るべき行動 ○不備な施設の発見・改善	○管理・計画の改善 ○安全設備の設置・改善計画
ねらい	○作業員共通及び個人の 安全行動目標を決める	○事業者が、作業等で発生する 危険等から作業員を守る

リスクアセスメントは

事業者（工事安全担当者・職長）が工事、作業を開始する前までに、管理・計画・設備を検討し、その危険度の大きいものから災害等の発生の防止対策等を行い、それを実行することにより作業者を危険等から守ること。

安全パトロール

平成二十二年十月二十日(水)に野田工業(株)研究会のみなさんと安全パトロールを行いました。

【現場名】

【建築】

【設備】

【保温工事】 小林 断熱

【統括職長】 荒谷 将史

【PTメンバー】 関口(嘉)・関口(浩)・神尾・

堀田・中田・今井



旅行会のお知らせ

- 【日時】 平成22年12月4日(土)~5日(日)
- 【集合時間】 現地集合:18時00分 宴会開始:18時30分
- 【宿泊先】 いわき湯本温泉 吹の湯
〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本町吹谷48
TEL 0246-42-2158

